

I D 問答～新たに始まった、我(ら?)が精神の放浪?!～

作：I & D

⑪「教育」と「学習」の関係！そこでの、「社会教育（行政）」の正当な役割が見えていない?!

I：突然ですが、「教育」と「学習」の関係について、あなたと少し問答しておきたいのですが、よろしいでしょうか？

D：本当にそうですが、何か、訳でもあるのでしょうか？何か、そういうことを考えさせるきっかけ（事件？）でもあったのでしょうか?!

I：いやいや、特にそういうものはありませんが（実は、ある?）、一度はここでも、それについて喋っておきたいという、言うなれば、私の、これまでの教育思惟の総括みたいなものです？

D：そうですか！ただ、そういうように言われれば、ある種の贈る言葉（遺言?）にもなるような気もしないではありませんが、それはともかく（まだまだ先の話!）、あなたの、これまでの仕事・活動の総括（メッセージ?）ということであれば、それはそれでいいのではないのでしょうか！

I：要は、私自身が、いわゆる「社会教育」の世界に入れてもらい（ほとんど偶然！だが、それによって助けられた!）、そこで「生涯教育（学習）」の理論（世界的潮流?）に出会ったことが、その後の私の、仕事（研究?人生?）の基本スタンスとなっているということですが、そこで得たのが、まさに「教育」と「学習」の正当な関係理解であったのです！

D：しかし、その関係については、何か、「両者は対立するもの」、あるいは「教育よりも学習の方が好ましい」というような考え方（風潮）があって、結局は、「生涯教育」ではなく、「生涯学習」ということになったわけですが（挙句の果てに、「社会教育」が「生涯学習」ともなった?）、一方が、一方を否定するのではなく、双方の関係を適切に実現させるという考えやしくみづくりが重要であった?!

I：そういうことです！しかし、大勢は、「学習」の方にシフトし、何か「教育」はよくないもののようにもなってしまった?だから、「社会教育」の方も、徐々に遠景に退いていつてしまった?!

D：そのことが、一方では悔しいが、一方では、別コーナー（「教育協働への道」）で、私が書いているように、現在、折角の、意義や可能性がある取り組みがなされ始めているのに（「CS」や「協働のまちづくり」等）、「教育」と「学習」の関係が適切に咀嚼（理解）されていないがために、望ましい形やしくみが、なかなか実現され得ていない！そういうことですか?!

I：まさにその通りなのですが、一体、何故、そのようになるのでしょうか？

D：表面的には、担当部署の課題意識、守備範囲の問題ということになるのですが、根本的な問題は、「生涯教育（学習）」の理念が、正しく広がっていないということですか?!

I：それは、具体的には、どういうことでしょうか？

D：詳しいことは、ここでは喋れませんが、人々の生涯に亘る学習（これが、本来の「生涯学習」の意味!）、これが、これからは重要であることは論を待たないわけです！そこで、問題は、それを、どのように支援（鼓舞・推進）していくかということですが、端的に、そこでは、社会にある全ての教育・学習資源・機会の有機的な繋がりが必要だということですか！あっちか、こっちかということではない！

I：でも、そうなっている?!そして、そこに、「社会教育（行政）」の意義や役割（働き）が十分に採り込まれていない?だから、うまくいかない?と言うより、望ましくない?!

D：そういうことです！ある意味、『教育』は、『ひとづくりとまちづくりの往還（循環）』の中で成立するとも言えるのです（「人格の完成」と「良き社会の形成」）！そして、「社会教育」は、実は、その双方の要素（使命?）を有しながら、学校（ひとづくり）と地域（まちづくり）に関わっているのです！つまり、その「往還（循環）の促進役」（コーディネーター／プロモーター）なのです?!だから、重要なのです！それが、「教育と学習の関係」をより良いものにする！そういうことなのです?!（つづく）